

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の達成を目指すには、職員の周知だけでなく、グループホーム泉州に関係する家族や地域住民に当事業所の理念の理解、指示して頂くことが重要である。	グループホーム泉州に関係する家族や地域住民に当事業所の理念の理解、指示を頂き、利用者を支える関係者全体で理念の達成を目指す。	運営推進会議の際に毎回理念の紹介をパワーポイントで行う。また、玄関前にも設置している、面会表近くに『私達の取り組み』と言う形で理念を掲示し家族がすぐに目に見える工夫を行う。	6ヶ月
2	35	災害、消防避難訓練を事業所内で行っているが、実際に災害が起こった時、事業所だけでなく地域の協力や連携が必要である。	災害時の協力を得る事を目的とした地域との繋がりではなく、事象によって当事業所が地域へ協力、支援できる関係を構築する。	運営推進会議やその他地域会議の中で地域の避難訓練参加や地域行事の参加の打診を行い、地域との繋がりを構築する。	12ヶ月
3	2	地域やボランティアとの多数の関わりがある中で与えられるだけでなく、事業所の役割として、地域に認知症に対する啓発の発信、活動が必要である。	地域の資源として、介護や認知症の相談窓口として当事業所が役割を担う事で地域連携を図る事が出来る。	運営推進会議の際に地域の役員からグループホームの感想だけでなく、介護や認知症に関する相談事や啓発活動の支援、協力の聞き出し、ボランティアの活動前後の時間を活かし認知症ケアのミニ講座などを行う。	12ヶ月
4	10	新体制となり、2年目となる中でさらなる、利用者へのケア、日常生活の充実を目指す事に当たり、色々な意見、要望を聞き振り返りや評価が必要である。又、ケアプランの内容を一目見ればどなたかがわかるケアプランを作成する必要がある。	家族、関係する方々の率直な意見、要望を聞き取り、課題に対して解決に向けて、また要望に対しても実現できるように取り組み、グループホーム泉州の変革、又、個別のケアの充実を図る。	家族の面会の際に意見、要望の聞き取りの実施。協力して頂いている地域の方、ボランティアとの意見交換(運営推進会議、他会議等)や今年度末に全家族へのアンケートの実施を行う。利用者への思い、ケアに関する内容を受け止めケアプランに反映していく。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。